



▼ 始業式あいさつ(抜粋) ▼

校長 阿南 孝也

新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り

慈しみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大によって、今、大きな困難の中にある世界を願ひてください。病に苦しむ人に必要な医療が施され、感染の終息に向けて取り組むすべての人、医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、尽きることのない安らぎに満たされますように。不安と混乱に直面しているすべての人に、支援の手が差し伸べられますように。

希望の源である神よ、私たちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、世界のすべての人と助け合って、この危機を乗り越えることができるようお導きください。私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

希望と慰めのよりどころである聖マリア、苦難のうちにある私たちのためにお祈りください。

学校を再開し、生徒の皆さんと顔を合わせることができたことを、とてもうれしく思っています。これまで当たり前と思っていた日常が、貴重でかけがえのない時間であったことに気づかされる毎日です。この間、学校から送られる教材やオンライン授業の活用を通して、自宅での学び、規則正しい生活を心掛け、実行してくれたと信じています。

そのような中で、医療現場で働く方々を応援することを目的に、各国のスター歌手が自宅から配信する慈善コンサートが開催されました。異業種からマスクを生産する取り組みなど、アイデアを出し合い、力を合わせて乗り越えようとする行動に勇気づけられた人も多いと思います。

神様は、私たち一人ひとりに異なった能力(タレント)を無償でくださいました。69期生の新しい仲間を迎えて、2カ月遅れで校舎での授業が始まります。洛星で学ぶ皆さん、与えられた個性を生かし、勉強や様々な活動に全力で取り組んでください。不自由な中ですが、いや不自由な中だからこそ、学校で、家庭で、今自分がすべきことは何なのか、将来に向けてどのような日々を過ごせばよいのか、よく考えて、今できる最善の行動をとるよう、お互いに心掛けていきましょう。

人類は有史以来、様々な感染症と闘い、多くの犠牲を払いながらワクチンを開発し、乗り越えてきました。医療、政治、経済など、多くの分野で、一日も早い収束と日常の回復を目指す懸命な取り組みがなされています。

感染による被害拡大のニュースに目を向ける時、急速なグローバル化、貧困、格差など、現代社会の持つ課題が見えてきます。“science”(科学)の語源であるラテン語の“scientia”(スキエンティア)は、「知る」という意味を持つ言葉です。洛星の生徒の皆さん、じっくりと、しっかりと学び、確かな学力、思考力、知恵を身につけてください。

洛星で学ぶ皆さんが、人類の危機を乗り越えるために活躍できる、叡智溢れる人として成長してくれることを願って、始業式の言葉と致します。